

う な ば ら 海 原

題字 河原孝好先生

発行
平成24年5月7日
第35号
海城学園 海原会

〔海原会事務局〕
〒169-0072 東京都新宿区大久保3-6-1 海城学園
TEL 03-3209-5880 FAX 03-3209-6990
E-mail: unabara@kaijo.ed.jp

6月2日(土)です 海原会総会・親睦会

海原会の第91回目となる総会が、定例の6月第二土曜日、今年は6月2日に開かれます。ここ数年、年ごとに出席者が増加して東日本大震災の影響が心配された昨年も、300名近い会員が出席して会場の講堂が熱気に包まれました。今年もぜひ同期や部活仲間、友人など皆さまお誘い合わせてご参加ください。総会後にカフェテリアで開かれる親睦会も年々盛大になっております。

総会では主賓としてお招きしている古賀喜博学園理事長および水谷弘校長からのご挨拶を通じ学園の教育の現状、今後のプランさらには昨年震災による被害をうけた那須海城校の現状などについて、生の情報を伺える貴重な機会ともなっております。この総会の日が、皆様方の学園時代を振り返りまた新たな学園との絆について語り合う機会となればと願っております。



撮影 山本満男

記念品を贈呈します

今年の卒業表彰の対象年は以下の方々です。
総会に出席した対象者の方々には母校にちなんだ記念品を贈呈します。
各卒業年次の皆さま、お誘い合わせてご出席ください。

- 祝卒業60年 … 昭和27年卒
- 祝卒業50年 … 昭和37年卒
- 祝卒業40年 … 昭和47年卒
- 祝卒業30年 … 昭和57年卒
- 祝卒業20年 … 平成4年卒



海原会総会のご案内

■ 平成24年6月2日(土) 午後3時開会

◆総会 海城学園講堂（1号館3階）

- 挨拶／海原会長、学園理事長、学校長
- 主な議題／平成23年度活動報告および決算報告
平成24年度活動計画および予算案その他
表彰対象卒業生への記念品贈呈
質疑応答
その他
- 海城学園吹奏楽団による演奏

◆親睦会 食堂棟カフェテリア

参加費 /3,000円 学生 /1,000円
本年卒新会員は無料です

同封の返信用はがきで
5月25日(金)までに
総会・親睦会への出欠を
お知らせください。

ごとしも様々な活動を計画しています

旅行会

海原会では昨年は6月に「記念艦三笠の見学会」を実施、夏には高校野球の応援、9月には海城祭の場を借りて第二回目の「海原会サロン」の開設、さらに10月にはゴルフ会の発足のための準備会の立ち上げなど様々な活動を展開してきました。海原会としては今年も魅力ある同窓会を目指していろいろなプロジェクトを立案検討しております。

一つは昨年から具体化に向けて動きだした大きなプロジェクトとして、ゴルフ大会の実施があります。今年2月に関心のある会員約20名が集まって具体化の検討を進め、ようやく実施計画をまとめました。実施計画の詳細は3面をご覧ください。

また他にも見学会、旅行会といったイベントの企画、恒例となった「海原会サロン」も動きだしています。今年はサロンの場を会員の親睦や懇談が図れる場とするためのプランなども検討しております。これらの活動が、会員の年代を越えた縦の交流、さらに同期の仲間などの横の関係を一段と深めるきっかけとなり、加えてこのような活動を通じて積極的にボランティア参加して頂ける会員が増えていることは極めてうれしいことです。今後さらにこれらの活動を発展させ活発化するために、皆さまの持てる知恵と時間と労力を提供してくださる方々がいらつしやいましたら、是非協力をおねがいします。各プランに参加したい方、またプランの企画運営、具体化に関心のある方、どのような形でも結構です。活動のお手伝いをして頂ける方は海原会事務局（E-mail: unabara@kaijo.ed.jp）3209-6990 E-mail: unabara@kaijo.ed.jp）にご連絡ください。是非一緒に海原会活動を盛り上げましょう。

サロン

今年も「海原会サロン」を開催します。第3回目を迎えます。海城祭（文化祭）に於ける海原会サロンは、同窓の交流を目指して催されるので総会とは趣を異にして、在学生と共に同窓会活動を盛り上げるイベントです。期間中は学園を開放しての見聞は、今の海城を知る機会でもあり、若いOBにおいて

は懐かし、年配のOBにおいては母校の興隆に目を見張り、感慨一入かと思えます。昨年は文化祭の来場者が

約2万人、校内いっぱいの人で溢れ活況を呈しました。訪れた人は、在校生、OBは勿論、OB親子、父兄の皆様、他校の学生たち、来年受験される親子連れ、などで賑わいます。その中で多くの方達が「サロン」にお出でいただき、「改めて海城のすがたを見直しました」と関心を持たれ、知って頂いた事を喜んでおります。今年もスタッフ一同、一層の工夫をこらしたいと考えております。展示内容案についても、常設コーナーは「海城の沿革」を更に充実を計り、海軍予備校時代、日比谷

中学校時代、海城中学校時代、海城学園時代を写真で展示するなど、また、企画コーナーでは、会報でもとりあげた「活躍してます」「われら



大盛況の海城祭校庭(昨年)

9月15、16日(海城祭)は「海原会サロン」の日です。

海城人」の卒業生たちを紹介したいと考えております。更にサロン会場ではブランディングとして

応援帽・Tシャツ・ Poloシャツ等を頒布しております。ご利用下さい。などなどを考えておりますが、併せてこんな事あんな事、珍しい写真などありましたらお借り頂ければ幸いです。皆様のお知恵提案がありましたら、心よりお待ちしております。

又海城では人気の学年ごとの卒業アルバムコーナーも山ほど用意して、母校にご無沙汰している方も、していない方も「俺も海城に居たんだ」を実感して下さい。

(山本満男)

ご来場をお待ちしております。



見つけました

無言館



窪島氏は、全国に画学生の御遺族を訪ねて作品の収集にあたり、大変なご苦労をされたと聞いています。これらの作品を観ながら、窪島氏に「無言館」設立に到る経緯などを直接

伺い、展示品のご説明をうけたいと考えております。いまのところツアーは10月ごろに計画しておりますが、具体的な日時やツアーの内容など詳細が決まり次第、海原会HPへの掲載や常任幹事会などの会合、その他の機会・ルートを通じてお知らせいたします

が、現時点でツアーに関心をお持ちの方、参加ご希望の方は、海原会事務局にMailか、Faxで一報いただければ幸いです。後日直接詳細のご案内をいたします。

(安藤 浩)

海原会事務局 E-mail: unabara@kaijo.ed.jp
Fax: 03-3209-6990

昨年、実施した第1回見学会「記念艦三笠」につきましては、ご家族の参加もあり大変好評を得ました。(社)三笠保存会の理事をされておられる石川達也先輩には大変お世話になりました。

ありがとうございました。

本年は、第2回の見学会として、長野県上田市にあります戦没画学生慰霊美術館「無言館」を訪ねる

第2回見学会「無言館」ツアーを計画中です。

ツアーを検討しています。同館は、昭和35年卒の同窓、窪島誠一郎氏が起した展示館で、第2次世界大戦中、志なかばで、戦場に散った画学生の残した作品を展示しています。



窪島誠一郎氏

第一回 海原会ゴルフ会 のご案内

海原会ゴルフ会 発足にあたって

開催日 平成24年10月12日(金)

開催場所 豊里ゴルフクラブ

〒300-2615 茨城県つくば市大字田倉5185

Tel : 029-847-0011 Fax : 029-848-1311

※クラブバス送迎バス有(つくばエクスプレス: 研究学園駅より)

競技方法 18ホール ストロークプレー(新ペリア方式)

参加資格 1) 海原会会員
2) 海城学園関係者

参加費用

1) プレー料金 13,500円

(グリーンフィ、キャディフィ、カートフィ、諸経費、昼食、パーティ代、
ゴルフ場利用税、消費税含)

※昼食時のドリンク、朝食、コース売店、ショップのご利用代金は別

2) 参加費 3,500円

応募締切日 平成24年6月30日(土)

応募方法

☐ 海原会総会出欠はがきのゴルフ会の参加欄を丸で囲んで返信ください

☐ 海原会ホームページ(<http://unabarakai.jp>)から申し込み

☐ 海原会事務局 ファックス: 03-3209-6990

メール: uabara@kaijo.ed.jp

ゴルフ大会の景品や賞品の寄贈を歓迎します。
事務局までご連絡ください。



海原会会長

徳光和夫

海原会のゴルフ会を設立することになりました。ゴルフ会というとゴルフに関心のない人たちにとってはゴルフ好きの連中が勝手に集まって遊ぶ会なのだろうと思われるかもしれませんが、海原会としてはゴルフをやる人やらない人すべてが参加できる海原会のイベントとすべく企画して設立しました。

名称は「海原会ゴルフ会」です。ゴルフ会では競技そのもの以上に、「ゴルフをきっかけとして多くの人が集まり、交流を深めることを目的としています。いかなれば「総会」や「海原会サロ」などと並ぶ会員同士の交流促進、親睦を図る新たな機会の創設と考えています。

ゴルフそのものに対する「意見」「批判があることは十分に理解したうえでなおゴルフにこだわった理由は、一つにはゴルフは

若年から高齢者まで幅広く参加できる競技であるということにあります。また100名単位の人が一堂に集まることでできるスポーツレジャーということもあります。このことは海原会会員の年代世代を越えた交流を図る絶好の機会となりますし、また競技後の食事やパーティなどを通じて親交親睦を深める機会ともなることが期待されます。

また競技とは別に大会の企画や運営そのものに関心のある方々が直接間接に参加したり、このゴルフ大会と結びつけた企画、例えば旅行会や見学会などといったことを実施するなどして頂ければ、会員の交流の機会、場が様々な形に広がって発展してゆくことになるものと思っています。

さらに海原会会員のみなならず、学園および学園関係者、教職員、PTAなどの皆様との関係を深める一助になることも願っております。ゴルフをやる人やらない人すべてが参加できる「海原会ゴルフ会」の今後の活動に是非とも皆さまのご協力・ご支援をおねがいします。

先輩・後輩をつなぐ絆に

実行委員長 吉岡幸夫

皆さんこんにちは。この度、海原会にゴルフ会を発足するに当たり実行委員長を仰せつかりました32年卒の吉岡です、よろしくお願ひいたします。考えて見ると100年近い歴史のある海原会にゴルフ会が無いのが不思議なくらいでした。この会を、先輩と後輩をつなぐ絆とし、そして一堂に会して1日楽しく集い、お互いに親睦と情報交換が出来る会にしたいと思っています。今回はその第1回大会です、ぜひとも成功させて次に繋げたいと思います。多数の参加をお待ち致しております。今後とも宜しくお願い致します。



吉岡幸夫氏プロフィール
昭和13年生まれ。海城中
学に入学、海城高校32年
卒。在学中は河原先生の
野球部で活躍。36年法政
大学卒業。趣味はゴルフ、
毎日のウォーキングとスト
レッチ。2011年度茨城GC
と大洗GCのグランドシ
ニアのチャンピオン。

徳光会長の吉岡さん評

「吉岡先輩は私が海城高校野球部に入部した際の3年生で、ばりばりのレギュラーでいらつしました。打撃では5番を務めていまして、当時の野球部では屈指の強打者、長距離バッターでならしたものでございます。なにせ、練習になるとボンボンと保善高校の方までボールが行ってしまうのでありますから、保善高校の人たちが怒ったとか怒らなかつたとか...」

大会役員

会長 徳光和夫 (S34)
実行委員長 吉岡幸夫 (S32)
実行副委員長 松島義人 (S41)
事務局 安藤 浩 (S34)
国井信男 (S62)
広報担当 小西洋也 (S41)
記録担当 池内 宏 (S33)
催事担当 溝口舜亮 (S36)
原 孝 (S46)

委員

西川芳弘 (S33) 鈴木雅彦 (S34)
山崎典夫 (S34) 達林 哲 (S35)
岡本隆雄 (S36) 斎藤邦夫 (S36)
林 昭策 (S36) 菅原次郎 (S41)
石黒淳一郎 (S47)



多摩市で

「全寮制」学校を再開

那須高原海城中学・高等学校教頭

(平成30年卒)

塩田 顕二郎

東日本大震災によって甚大な被害を受けた本校は、昨年5月より海城中学・高等学校の3号館をお借りして学校生活をおこなってきましたが、この4月からは新宿を離れ多摩市にキャンパスを移転をしました。

本校生徒が震災後のさまざまな困難にもめげずにこの1年間頑張れたのも海城の生徒・保護者・教職員のみなさんがあたたかく本校の生徒を迎えてくださったからです。また、海原会からも多大なご支援を頂戴いたしました。この場をお借りして厚くお礼申し上げます。

海城と那須海城の両校が同じ施設で学校生活を送るという思わぬできごとでしたが、兄弟校が交流を深める絶好の機会となりました。部活動や委員会活動などから生徒間の交流がはじまり、9月には海城祭と那須海城祭のコラボレーションも実現しました。那須では得られなかった経験をすることができたこの1年間は大きな思い出になったことでしょう。6月の「文化祭」で元気を姿を見てください。

本校の生徒は那須を「第二の故郷」と呼びます。その那須に早く戻りたいという思いは、生徒・教職員みな強く持っています。しかし、校舎の被害状況が深刻なことに加え、放射線量の問題も重なり、いましばらく

く那須の復旧・復興には時間がかかりそうです。

そのため今後2年間は東京都多摩市にある廃校を利用して学校運営をおこなうことになりました。また、那須海城の教育の柱である「全寮制」も今年度から復活しました。多摩市と相模原市にある桜美林大学の2カ所の施設を寮とし、全校生徒が4月から寮生活を送っています。生徒は再度の学校移転にも明るく前向きです。寮生活で培ってきたリーダーシップとフロアーシップを遺憾なく発揮し、上級生と下級生が力を合わせて多摩での学校・寮生活をスタートしています。6月16日・17日には「那須海城祭」が多摩のキャンパスで開催されます。ぜひ、遊びに来てください。

那須高原海城中学校・高等学校
多摩キャンパス 多摩市豊ヶ丘4-4
Tel: 042-374-8011



那須海城多摩キャンパス(東京・多摩市)

那須校 入試結果

国公立

大学	学部
東北	1
広島	1
琉球	1
秋田県立	1

文部科学省管轄外

大学	学部
水産大学校	1

私立理系

大学	学部
岩手医科	1
金沢医科	1
金沢工業	2
近畿	2
久留米	1
昭和	3
諏訪東京理科	1
千葉工業	1
中央	1

大学	学部
桐蔭横浜	1
東海	8
東京工科	3
東京電機	1
東京都市	2
東京農業	2
東京薬科	1
東京理科	2
同志社	1

大学	学部
東洋	2
新潟医療福祉	1
日本	2
明治	1
立命館	2
早稲田	1

私立文系

大学	学部
桜美林	2
大阪体育	1
学習院	3
神奈川	2
杏林	1
國學院	2
国士舘	2
駒沢	2
四天王寺	1

大学	学部
順天堂	1
成蹊	1
成城	1
専修	4
獨協	2
多摩	1
玉川	1
中央	1
帝京	1

大学	学部
東京経済	1
東京都市	2
東洋	3
獨協	2
二松学舎	1
日本	4
日本体育	1
文化学園	1

大学	学部
武蔵	3
武蔵野美術	1
明治学院	1
立命館	1
立教	1

海原会賞 古典芸能部の三木駿鷹君 部昇格に活躍



平成23年度の「海原会賞」は古典芸能部の創設に尽力した三木駿鷹君が受賞された。

賞状を読むと「盟友平山創君」とある。平山君は学園の「功労賞」(規約により部に1名部長職)が顕彰されているので、三木君の顕彰を、との事で海原会賞に推挙された。2人は2008年に「同好会」を設立、部員5、6人から始まり今では40人になり「部」に昇格した。その功績は称賛に値する。

「当初は落語を楽しみ演じるために作った部活ではあったが、活動を重ねるごとに、古典芸能を作ったのは一体どのような人だったのか、どのような背景があったのか」と考えたという。その一つの研究結果が「ムーランルージュ新宿座と海城学園」として纏められ、その姿がTVで放送された。引き金になった一人のプロパガンダは素晴らしい。ともあれ「所懸命」の姿は心を打たれる。

ついでにお2人の進学はと聞くと、三木君は慶應、平山君は早稲田。早慶戦だ。合格おめでとう！

あなたは今から5年前 盟友平山創君と古典芸能同好会を設立しました。あなたの真摯かつ献身的な活動により現在では部に昇格中高で約400名を擁し 昨夏は部独自の研究がNHKで放送されるなど 同種の活動機関としては国内有数の規模にまで成長させました。よってその活躍をたたえ表彰します。

平成24年2月18日

海原会 会長 徳光和夫

◆付記 「ムーランルージュ海城公演」

古典芸能を鑑賞、研究、実演をしていくうちに、お膝元の新宿がかつて戦後のお笑いの中心地であり、その殿堂としてのムーランルージュ新宿座で活躍した関係者、俳優、女優にルポルタージュを敢行する。その研究ぶりをNHK首都圏ニュースで紹介された。その途上、なんと「ムーランルージュ一座が海城に出演」というスcoopになった。顧問の川崎先生の手を借りて資料を元に我がOBに連絡、数人の方と当時の様子を聴く事が出来たと云う。

当時のOBに聞くと、教壇を集め舞台に見立て、腰みのを当てたダンサーが踊ったとの事。先生、生徒は目を白黒？大喜びしたとか。この公演一座の支配人曰く「学校によればたのは初めてだ。海城は進歩的ですね」と感激したと云う。

この事は「本校の、戦後の進歩性を示す意味でもこの公演の意義は少なくない」と結んでいる。このリベラルな学校に感服。

(山本満男 記)

同期会 クラス会 だより



海原三四会

さいたま市同期生の会

昨年開催予定が震災の影響もあって延び延びになっていたが、平成24年1月14日（日）新年会としての開催となった。会場は浦和駅近くの「浦和椿山荘」。ホテル12階にある宴会室の大きな窓からは小さな灯をちりばめた浦和の街が綺麗に広がって見渡せるのが心地よい。この会は海城高校に在学していた当時、または現在さいたま市（旧浦和、大宮、与野、岩槻）に居住する同期生の集まりで、この日に顔をそろえたのは14名中9名であった。欠席者の中には難しい病に罹り、闘病生活をしている仲間が数名もいて、心



配すると同時にお互い70歳を過ぎた身を案じた。

久しぶりに相集い話は大いに盛り上がった。地元にあるJ1チームの話や高校時代の運動部活動などスポーツ談義から市内在住の後輩の衆議院議員や市議会議員の活動ぶり、さらには武蔵浦和の駅ビルに日本そばの店を出している同期生の消息や浦和の中山道筋にフランス料理の店を持つ同期生の娘夫婦などの話。そしてウナギの街かば焼き発祥の地「浦和」評判の店の口コミ情報と多岐にわたった。タイミング良く給仕されるおいしい会席料理と好みの美酒を楽しみながら本当に愉快な三時間となった。最後に同期会海原会総会の出席を約束し、余韻を楽しみながら散会した。（市川武昭）

36会G組

濱尾甫先生を偲ぶ会

去る3月30日（金）に恩師濱尾甫先生を偲ぶ会が東京ガス四谷クラブで行われ、海城36会G組の有志14名が集まりました。最初に濱尾甫先生を始め、伊井雅澄、伊藤明、見村俊二、吉沢豊君など物故者に対し黙祷。続いて幹事から36会同志の溝口舜亮君の舞台「裏の木戸は開いている」と寺崎央君の著書「癌一髪！」への協力をお願いがあり、各目、濱尾先生の思い出と現在の近況等を語り、今年の36会の総会6月2日（土）にこそって参加しようとする結束しました。集合写真は後列左から嶋田、鈴木、立川、下川、高崎、鯉沼、小谷野。前列右から山口、清水、中田、小田、佐藤（洋）、佐



藤（佳）、杉山（敬称略）です。

（杉山紘千佳）

昭和36年卒 36会

「修学旅行」の写真交換会

50年目の修学旅行スナップ写真交換会を平成23年11月22日に参加15名で開催しました。それぞれ好みの飲み物とおつまみを持ち寄り、思い出に



浸り用意の写真に思い出を語り合い、今後も旅行会続行を今回の旅行委員長長斉藤（邦）君に願いました。また、山田36会会長より来年度の我々古希を迎えた同総会に向けた始動宣言あり、大いに盛り上がりました。写真は全てCDに収めて持ち帰りましたが、この機にパソコンの勉強開始を宣言する会員も2〜3名あり、向学心喚起集会でもありました。（赤石 浩）

昭和42年度中学卒同窓会

還暦迎える17年ぶりの再開

平成23年10月29日（土）、新宿のハイアトリージェンシー東京において、山西顕六先生のご出席を賜り、同窓会を開催いたしました。幹事長は高



橋元由君。還暦を迎える節目を記念しての実に17年ぶりの同窓会となりました。この間住所も変わった人もおり、同窓生48名中返信があったのは32名。当日は、29名の卒業生が出席しました。久々の旧友の顔を見て、お元氣な山西先生を囲んで昔日の思い出話に花を咲かせました。また是非同窓会をやって欲しいという声も強く、不定期ながら企画していきたいと考えております。連絡の取れない16名の方、これを読んでいましたら幹事の志賀（住所は変わっていません。）までご一報を！（志賀敏和）

平成2年卒6年10組

学校の変貌ぶりに感激

平成23年12月18日（土）、約2年ぶりのクラス会が、幹事の小野（旧姓…田嶋）くんの企画により、担任の茂木先生（現・那須海城校長）の御案内による、現在の海城の見学から始まりました。8階建てに積み増しされた本館に始まり、体育館も武道場も食堂も図書館も……どれもこれもが、



20年前から物凄い進化を遂げていました。そうこうしている間に、あつという間に夕暮れになり、茂木先生の御案内による学校見学は終了。

その後、場所を新大久保駅近くの居酒屋に移し、茂木先生と13名の仲間たちにて旧交を温めました。今回のクラス会は、当初、3月19日に実施する予定でしたが、直前の3月11日の東日本大震災により、この日の実現となりました。

茂木先生におかれましては、那須海城の学校運営にて御多忙の中、貴重な御時間を頂き、ありがとうございます。また、今回の企画を実現に導いてくれた幹事の小野くん、本当にありがとうございます。

(樵 裕介)

平成5卒4組クラス会

即席「ホールム」に耳を傾ける

フェイスブックで再会した仲間と準備を始めて一か月、海原会中村先生の協力を得て前日に連絡のついた小垣先生を含め平日にもかかわらず総勢16



名集まることができました。

貫禄の出始めた御仁から詰襟着ても変じゃない青年に、いつハン流スターになったのか明かさない男も登場さびしいのはアポ無しでも来てほしかったノブオ、もし本紙面を目にしていたら津波被害の様子を見ました。みんな無事を祈ってるよ。

そして先に帰られる小垣先生が震災の日の出来事から今日までのことを話し始めます。この即席ホームルームでは皆、ひと言も聞き漏らさないようそれまでの騒ぎから一転しずかに耳を傾けました。@三田、録画ありがとうございます！ほんと貴重だもんね。卒業後3回目のクラス会でしたが新たに見つかるメンバーもあり半年後の再開を約束、いつか45人揃う日 pensando。平成24年3月7日、於…老辺餃子館新宿南口店。出席者 ☆幹事：小垣教諭、有坂甲斐、河野、☆金宏修、紺野、汐崎、白土、高橋有、玉井、☆塚本、土橋、長澤、西谷、船越、三田 (高橋有仁)

平成14年卒同窓会

今後も毎年1月に開催

1月21日(土)に、毎年恒例の学年同窓会を開催致しました。今年は卒業10周年という事で、節目の年となりました。約15名の同期と、村上先生・福島先生・石塚先生の3人の先生方を交え、母校カフェテリアにて、まったりと交友を深めました。それぞれが各分野で活躍している様子や、結婚した人の話等、様々な近況報告や懐かしい話で盛り上がりました。学年同窓会は、今後も毎年1月に開催予定です。



す。皆さん忙しい世代？だと思いが、是非同窓生と交流を深め、昔を懐かしむと共に、お互いいい刺激を与え合いたしう！在学時にはあまり話した事がなかった人とも、意外と話が弾むものです。案内の葉書きやメールが届いていない方は、kaijo2002-owner@yahoo.co.jpまでご連絡ください。また、「海城2002年卒」というfacebookグループを立ち上げましたので、是非こちらにもご参加ください。(黒岩直輝)

地域海原会・OB会

高校野球部OB会

田中政一先生の 定年退職を祝う会

2月25日(土)神楽坂の日本出版クラブにて、体育教師として、高校野球部監督として、42年の長きにわたり、教育指導されてきた田中政一先生の定年退職を祝う会を開催いたしました。

雨上がりで足下の悪い中、20才代50才代の田中先生から直接指導

を受けた世代はもちろん、河原先生世代の60才代〜80才代の大先輩まで120人を超える方々が足を運んでくださいました。

八田会長はじめ、歴代OB会長の謝辞にはじまり、各年代代表者による田中先生との思い出エピソード披露スピーチが続き、田中先生には内緒で行った奥様へのインタビューでは、会場が爆笑に包まれ、終始明るく楽しい会となりました。

東京大学野球部前主将、岩崎さんの指揮による参加者全員での校歌斉唱では、念のため歌詞カードをみなさんに配っていたのですが、さすがは元高校球児。歌詞カードを見る人は一人もいませんでした。



田中政一先生の定年退職を祝う会

後任の梶監督からは、感謝と今後の抱負を語っていただきました。

最後の田中先生ののこげ挨拶では、「河原先生に追いつけ追い越せという気持ちで指導してきたが、最後まで追いつけなかった」と、悔しい胸の内を打ち明けられ、私を含め「親の心子知らず」な教員であったことを反省したOBも少なくないことでしょう。

田中先生のスピーチ内容は、最後まで自分に厳しい田中先生らしいスピーチでした。ただ、想定外だったのは、田中先生のスピーチの短さです。試合の後の反省会では、話がとても長かった田中先生。OBに向けた最後の話もきつと長いだろうと、十分な時間をとっておいたのですが、非常に簡潔よくまとまった素晴らしいお話で締めくくっていただきました。

最後は、今回同窓会もつとめた、慶応義塾大学野球部で活躍した結城くんの音頭による万歳三唱、参加者全員での記念撮影で、お開きとなりました。終了後は、近い年代同士連れ立って、神楽坂で田中先生の教え子らしく、長い反省会があちこちで行われたそうです。(平成2年卒 岡村威治)

文実・生徒会OB会の新年会 新大久保の変化に感心しきり

平成24年1月3日(火)に新大久保にて文実・生徒会OB会の新年会を開催しました。なお、文実は文化祭実行委員会の略でフジツと読みます。

20代〜40代まで幅広い世代が参加。最近体調を崩されている小林先生の話など心配なこともありましたが、そ

れぞれ近況を述べたり、挨拶代わりに手品を披露したりと賑やかな会となりました。

駅前の鳥良での一次会を終え「どうしても行ってみようところがあるんだ!」と、96代高山君のインシアチブで向かったのは、ロッテ工場前の道路。昔はロッテリアのあったところに、なんと大通りが通っていました。新大久保も変わつたね、と一同感心しながら、変化の象徴である韓流の店で2次会。サムギョプサルをつつきながら、今秋の海城祭での活動案を話し合いました。

文実・生徒会OB会ではメーリングリストを運営しています。参加ご希望の方は海原会ホームページの「海原会へのお問い合わせ・ご連絡」からご連絡ください。(昭和62年卒 国井信男)



第100代文化実行委員会同期会

貴重な出会いを再認識

大切な仲間と再会するというのは深い感動に満たされるものですね。計画当初は数人集まれば、という感じ



でしたが各人が連絡取ってくれて前日当日参加表明ありと、仕事帰りや遠方よりと駆けつけてくれました。中には「忘れられてたらどうしよう。」という臆病者もいましたが、気がつけばそこは旧生徒会室。「話し方変わらないじゃん!」。同じ店内にいた小林組にハッピのことを聞かれると、「文実の結束力はすごいんだよ」と返す仲間に胸がアツくなります。後日寄せられた感想に、「みんなそれぞれ違う道を歩いていても文実の仲間はとてもとても優しい」という文面を見たら、海城は我々にこんなにも貴重な出会いを与えてくれたことがわかりました。青木、保科、吉田そして1年のとき活躍した田辺、山本待つてよ!

2012平成24年2月18日、於からこま。参加者(☆幹事)☆相互良、小市、近藤、横山、高橋有、古屋、荻野、吉松、中村、鈴木、柳生、越部

(平成5年卒 高橋有仁)

鉄道研究会OB会新年会

小林先生の思いを継ぐ

毎年恒例の鉄道研究会OB会新年会が、去る1月7日(土)に新宿「いさみ」にて開催されました。

顧問である小林先生のご参加は、先生が療養中であつたため残念ながら叶いませんでしたが、例年のおなじみのメンバーに加え、昭和34年卒の佐藤氏から昨年度卒業したばかりの河野君に至るまで非常に幅広い世代の方のご参加を賜り、総勢25名での会は盛況のうちに終了致しました。小林先生が逝去なさつたこと、本当に残念という他ありません。先生のOB会にかける思いを継ぎ、来年以降も鉄研OB新年会の開催を続ける所存です。

(平成21年卒 関口和樹)



平成6年卒 バレー部新年会

有機農業の仲間を応援

毎年恒例となつた平成6年卒バレー

部の新年会を、今年は新橋の焼き鳥屋で開催した。今回集まつたメンバーは梶原啓君、片山薫君、近藤圭輔君、中野哲也君、私の5人で、宗像敬穂君は都合が合わず残念ながら不参加。バレー部時代は時間にルーズだった皆も、社会人になつて揉まれたのか、どんなに仕事で忙しくとも最近では会の開始時間には必ず全員が揃うまでに成長した。バレー部時代の思い出話は勿論、仕事の苦労話や子供が産まれた話など、毎年集まつているにもかかわらず、話題には事欠かない。会も中盤に差し掛かると、話題の中心は3年振りに再会した梶原君に移つていった。誰よりも安全で美味しい野菜を作りたいと一念発起して数年前に脱サラし、現在は奥様と2人で長野県で有機農業を営んでいる。私の子供が産まれたときにお祝いとして送つてくれた有機野菜の美味しさは今でも忘れられない。

農業という決して生半可ではできない職業への転職を、彼は強い意志と努力で見事に成功させた。この美味しい野菜を一度食べてみたいと思われた方は梶原啓(akira.kajiwara@gmail.com)までお気軽にご連絡いただきたい。特にお子様がいらっしゃる方には是非お勧めしたい(この野菜を食べて野菜嫌いになる子供は少ないと思う)。

たつた3年という短くも青春がたくさん詰まつたバレー部で一緒に過ごした仲間が、海城高校を卒業して18年経つた今でもこうして毎年の近況を語り合える友でいられるのは、海城学園、そして我々バレー部の顧問だった故加茂先生、故桑野先生が我々に与えてくれた大きな財産だと心から感謝し



ている。世間一般では所謂「おじさん」と呼ばれる年齢になつてしまつたが、気持ちだけはまだまだバレー部時代のまま。「おじいさん」と呼ばれる年齢までこの会を続けていくことをメンバー全員で誓い合い、今年の会も無事終了した。(笹原英明)

健在です!



50代以下の海原会員なら売店のおばちゃん(オババ)に一度はお世話になつたのではないのでしょうか。

オババは今も健在で、三輪自転車に乗つて新大久保の街を元気に走り回っています。もし皆さんが海城を訪れることがあつたら、「オババ」と売店に立ち寄つてみてください。現在、売店はカフェテリアの下にあります。

第2回 海城高校・関東学院 野球部OB交流戦



平成24年3月2日（金）東京ドームにて、第2回目の海城高校・関東学院野球部OB交流戦が行われました。
あいにくの雨でしたが総勢30名が集結し、田中政一先生も参加していただき、昔の高校野球部時代を思い出す良い機会となりました。
練習では田中先生がノックをされ、そのノックを受けるOBには感慨深い思いが溢れていました。先生は3月で定年退職をされますが、まだまだOB達が受けていた時代と変わらずノックの腕前は見事なもので、本場にOBにとっては、かけがえない時間となりました。

始球式では田中先生が往年のピッチングフォームで見事にストライクを投げられて、田中先生も非常に喜んでおり、まだまだ現役で野球ができる姿を見ることができました。

試合は海城が先攻で1回表に、3番出口（H23年卒）と4番結城（H7年卒）のタイムリーヒットで2点を先制し、幸先の良いスタートを切りました。その後も終始、海城が追加点を上げて、海城がペースを握り試合を進め、7対3でリードをして、最終回を迎えることになりました。

海城の最終回表の攻撃は、あえなく3者凡退。迎えた裏の関東学院の攻撃。海城のエラーやフォアボールによって無死満塁のピンチ。投手のコントロールが定まらず、フォアボールを与えて、関東学院に1点の追加点。その後もピンチで、関東学院に走者一掃のスリーベースヒットを打たれて、3点追加された。その後2死まで凌ぐも、最後にセンター前タイムリーヒットを打たれて、サヨナラ敗戦。

今回も敗戦してしまいましたが、田中先生と共に野球をできる非常に貴重な機会となりました。
（平成7年卒 渡辺 聡）

スキーは楽し！

同好者募集

昭和34年卒のスキー好きの同期生が、7年前から毎年一回集まり、白銀の世界を楽しんでいる。その腕前は、インストラクター並の実力者から、ボー



ゲンをなんとか、こなせる程度の者まで、幅広い。ただ、いずれの面々も、古希を過ぎててもスキーへの情熱は衰えを知らない。若人の滑りまくるスタイルとは、縁遠くなったものの、ゆつたりと雪をかぶった山々を眺めながら、白銀のシニールを描く快感は、何にも換えがたい。

無論、スキーのあとの温泉とお酒の味は、格別だ。酒を酌み交わしながら、50数年前の海城学園での思い出、孫の自慢話、女房への不平不満、年金減額への危惧等々、同期の近況など話題は尽きない。最後にはやはり健康談義となり「ボケ防止」のためにも、「身体の不調を限り、スキーを続けよう。」そのためにも、「定期健診を忘れずにうけよう。」との、結論を得て床に就く。一病、二病と抱えていても、このように、毎冬のスキーに集い、互いに元気に再会できる友はこの歳になると貴重な存在である。

今まで、訪れたスキー場は、一回目の「嬬恋」に始まり、以後「湯沢」、「蓼科」、「八ヶ岳」、「草津」、「十日町」と巡

海原会グッズ

海原会グッズはFAXやメール、ホームページでの注文もお受けしています。氏名・送付先・電話番号・ご希望のグッズの品番・個数をご連絡ください。

お支払いはグッズに同梱した振込用紙にてお支払いください。

FAX : 03-3209-6990 E-mail : unabara@kaijo.ed.jp
HP : <http://www.unabarakai.jp>

※ホームページはトップページ右上の「海原会へのお問い合わせ・ご連絡」からお進みください



Tシャツ(KSと錨のエンブレム2種)

品番	種類	価格
T1	Tシャツ(大きめのLサイズ)KS	1000円
T2	Tシャツ(大きめのLサイズ)錨	1000円



キャップ(3種)

品番	種類	価格
C1	青白	1200円
C2	青	1200円
C3	青刺繍入	1500円



ポロシャツ(KSと錨のエンブレム2種)

品番	種類	価格
P1	ポロシャツ(Lサイズ)KS	2000円
P2	ポロシャツ(Lサイズ)錨	2000円

※別途、送料がかかります。

り、今年は、この2月、万座温泉スキー場での再会となった。残念ながら、いつもの8人のメンバーのうち、所用で4人欠席となり、今年は4名の参加であった。いつもは、神谷光男、赤松郁夫、山崎洋、及川豊一(温泉とウイスキーでの参加)がこれに加わる。今回は、幹事役の下田征男、大谷徳義、小野光昭、

安藤浩、の面々である。
34年卒の同期はもうろん、海原会の皆さんでスキーを楽しみたい方々、大歓迎です。来年は、志賀高原などが、候補にあがっています。興味のある校友の皆さんとともに、できたら、「海原会スキー同好会」を結成したいものです。
(昭和34年卒 安藤 浩)

退職されます

今思ふこと

英語科教諭 松田和久 先生



三十五年の勤務に終止符を打った。今振り返ってみて、懐しく思い出されるのは、今は亡き小寺先生や河原先生の顔であったり、旧本館の油のしみた板張りの床であったりする。あの頃は、高校入試に何千人もの志願者が押しかけ、校外の施設まで借りて行われていた。初めての入試面接では、丁寧に時間をかけ過ぎて終了時間が遅くなってしまう、教務主任の先生をあててさせてしまった。もつと

もその頃は、今のようないくつかある時代ではないので、自分から疑問に思いつて問わない限り、何も教えてくれなかったように記憶している。

そういう時代であったので、夏の講習で自分の好きな作家の小説を教材に使うたりすることもできた。その後もつい十年くらい前までは、日常使用しているテキストの関連で、New English Bibleの福音書の一節や、W. H. オードンの詩を教材に織り込んだりもしていた。この3月で卒業したある生徒が偶然出会う校内で、モームの『Of Human Bondage』とスライムベックの『The Grapes of Wrath』を読んだと言っていた。そのときはそれだけで話を終わらせてしまったのだが、今でも原書を読んでいる高校生がいるのだと後で思い出して感慨深かった。自分も同じ年のころ、受験用の英文を読んでいることに飽き足らず、この二作品を読んだことを思い出したからである。

退職のご挨拶

国語科教諭 五十嵐 寛 先生



昭和52年の4月から平成24年の3月までの35年間をもって退職する決心をしました。定年まであと2年を残しての早期退職です。何人かの同僚からどうしてと疑問の声をかけていただきました。

あらためて自分の気持ちを整理してみると、学校業務全般にわたって妥協的・後ろ向きに自分の気がついたときから退職を意識し始めたようです。試験問題の作成ひとつとっても、より良い問題、生徒諸君に資する問題と追いかける気力がありません。一言で言えば「自分の授業に対する品質保証」が出来ない状態です。それは授業だけにとどまらず校務全般に及ぶ状態だったでしょう。いまだ意識し始めると退職の二文字はますます大きく意識され一年ほど前から決心に変わっていききました。説明を尽くしたとは思いますが、こんな気持ちで職を辞することにしました。

勤務を終えて半月余り、改めて職責の重さを感じています。本当にお世話になりました。ありがとうございました。

さようなら 小林先生

社会科
外国の見聞や業界の情報がとても豊富で、社会科の同僚としてとても助けていただきました。

昭和55年から社会科教諭として教鞭を執られていた小林先生が2012年2月10日に逝去されました。生前のご恩に感謝し、ご冥福をお祈り申し上げます。

小林先生は6代にわたる「小林組」の担任をされる傍ら、ラグビー部、鉄道研究会、文化祭実行委員会・生徒会の顧問をされていました。それら団体のOB会記事は長年に渡り会報を賑わしていましたので、ご記憶にある方も多いと思います。

闘病中は治療に専念していただくため、アポの取れなかったとき以外は御見舞いを控える一方で応援ノートを作り、約100人分の思いを届けました。

教え子の思いむなしく小林先生は旅立たれましたが、愛校心や同窓の喜びは私たちの心にしつかり根を下ろしました。これからも海城の仲間と共に歩んでいきたいと思っています。

(昭和62年卒 国井信男)



昭和63年卒 副主任 立川和平
先生は我がラグビー部最大の功労者でした。これからは空に向かって相談します。

昭和54年卒 栗岡克典
鉄研
小林先生とは、毎年のOB会でお会いするのが楽しみでした。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

昭和56年卒 益田浩一郎
文実・生徒会
文化祭実行委員会では在学中も、卒業後も大変お世話になりました。もつとお話したいことが沢山ありました。私は決して先生のことを忘れません。ありがたうございました。

平成16年卒 市川貴之
「小林組」
小林先生、そちらはいかがですか？ 俺たちも後から行きますから、きつとシメておいて下さいね！ 押忍！

昭和62年卒 景山昇一
小林先生、また一杯やりましょう。いい酒探しておいてください。俺らも探しておきます。

平成5年卒 白石 晶
毎年の同窓会で、先生の変わらないマシンガントークをうかがうのが楽しみでした。心よりご冥福をお祈りいたします。

平成8年卒 西松宏一郎
小林先生、先生の勢いと熱さは、僕らが次の世代に伝えていきます。先生から学んだ絆の大切さを大事にして、これからも日々精進していきます。

平成13年卒 奥澤裕央
小林先生に教わったことは何よりも同志を大切にすることです。ご冥福をお祈り致します。

平成16年卒 浜田憲一郎
昨年の同窓会が先生との別れになってしまふとは思っていませんでした。先生は私達の恩師です。心よりご冥福をお祈り致します。

平成20年卒 本橋拓也

小林先生の墓参と「偲ぶ会」を7月7日(土)に行う予定です。詳細は海原会ホームページ <http://www.unabarakai.jp> にてお知らせいたします。

俳優、劇団主宰者

溝口舜亮さん

みぞぐちしゅんすけ(昭和36年卒)



役者の世界に興味を持つ

それは高校3年の夏だった。英語の夏期講習で溝口さんはその後の人生を決定つける一文に出会った。「確か山縣先生の講習でした。サマセット・

モームの短編で Actor is the fortune. というのが出て来たんです。役者は幸せだ。なぜならいろんな人生を生きたことができるからという文章なんです」。夏の高校野球大会の試合に負けて中学から6年間にわたって打ち込んできた野球一筋の生活がすべて終わり、いわば放心状態にあったこともあって、「なんか心に染み込んでですね。いまでもその時のことが強く心に残っています」。そして浪人するよりは、と入った大学で、ある日、劇の台本を読んでいる学生とたまたま隣合わせになったその時、その一文が蘇った。「興味があるなら」とその学生に連れられて演劇部に入ったのが始まりなんです。

座養成所に入る。養成所は30人の募集に2000人も応募する厳しい関門だったが、一発で突破する。それだけ目立った存在だったのだろう。溝口さんの入った15期生はのちに「花の15期」といわれるほどに多くの俳優役者がそろっている。

アングラ文化をけん引

3年の養成期間を経てそこで知り合った役者仲間たちと「自由劇場」を立ち上げたのはまだ23歳のころ。六本木のビルの地下の小さな劇場を拠点に活動していたことから「アングララウンド」、のちのアングラ演劇といわれる時代を切り開いた。さらに新しい演劇を目指して活動する唐十郎の状況劇場、通称赤テントと張り合うて発足した「劇団黒テント」の中心メンバーとして全国各地に出かけて公演するなどまさに1960年後半から1970年半ばにかけて大きく盛り

対象だった。海城高校では迷わず鉄道研究会に入部。群を抜く鉄道への情熱は周囲も認めるところで、2年の時には部長も務めた。放課後には狭い部室で語らい、休みには顧問の小林先生に連れられて電車の中でまた語らった。山陰本線を訪れた夏合宿は一生の思い出。鉄道研究会の仲間とは今もOB会で交流があり、尊敬する益田OB会長のもとでOB会活動を続けている。

大人の文化を築きたい

激動の日本の現代演劇世界をひた

上がった現代演劇を引っ張りその最先端で活躍してきた。

「スター」を拒否

その間ラックスや演技から注目され、テレビドラマ「明智小五郎」の主役を務めたり、映画などにも数多く出演するなど、スターへの道も見えたこともあったが、「映画の世界は自分には合わなかった。それに私は俳優ですとかスターですというのは嫌いなんです」とその世界から遠ざかり、舞台に賭けてきた。「英雄とか偉人の世界を描くドラマはやりたくないですね。市井の普通の人の人たちの世界にスポットを当てたようなドラマ、いかにも俳優が演じるというのではなくごく普通の人が演じているような演技でその世界が描きたいですね」

(小西洋也 記)

溝口舜亮プロフィール

1942年生まれ 海城中学・高校を経て明治学院大学へ。大学3年ころからプロの役者として活躍。現在劇団ゴキキタス・アジェンダを主宰する。4月に第二回公演を終えたばかり。

千葉大大学院准教授

近藤圭一郎さん

こんどうけいいちろう(昭和62年卒)



青春時代の夢を追い続け 鉄道車両研究

青春時代に見た夢を追い続けることができたとしたら素晴らしいが、なかなかできることではない。近藤さんはそれを実現し続ける希有な人物だ。近藤さんは海城高校を卒業後、早稲田大学理工学部(現先進理工学部)を経てJR総研に入社。博士号取得のち、現在は千葉大大学院で教鞭を執りつつ、鉄道車両の研究をしている。

中学からメカに興味

管理職より研究者に

鉄道に対する情熱はその後も全く

なるとどうしても管理的な仕事が増えてしまうんです。現場で若い人との研究生活をもっと続けたかったので大学に移りました。研究所では管理職をこなす先輩がいたから自分が思いきり研究ができました。その恩返しをせずに研究所を去ったことについては、申し訳なく思うことも多いです」。

近藤さんが研究しているのは、鉄道車両の電氣的な制御。省エネに通じるため、昨今のエネルギー事情から注目度が上がっているという。モノ作りにこだわる。一方で、大学の使命にも思い



われ海城人

整形外科医

福内正義さん

ふくうちまさよし(平成元年卒)



千葉県鴨川市の亀田総合病院とその系列である安房地域医療センターで整形外科医として働く福内正義さんにお話をうかがった。

中学のとき、当時最新だった中央線の201系にシビれたという近藤さん。彼の心をつかんだのは電機子チョップ制御という省エネの新システムだった。鉄道ファンには写真を撮ったり旅をしたりといういくつものジャンルがあるのだが、近藤さんの場合はメカが興味の

変わることもなく、大学でもJ.R総研でも鉄道車両技術の研究に没頭した。そんな近藤さんだが、30代後半のあるときJ.R総研を辞め千葉大に移った。「J.R総研では大学の研究室の後輩とも研究をしていて非常に充実していました。しかし、研究所勤務が長く

をはせる。「大学は日本のエンジニアを育成する仕上げる機関。しっかりとないと工業国の基盤が揺らいでしまうのでその重みを感じている」。そんな近藤さんの夢は一人前になった教え子とOB会で酒を酌み交わすことだそう

(国井信男 記)



高校時代の福内さん 右から2人目

熱中ですか！熱中も何も海城のときには文化祭しかしていません(笑)。私は宣伝委員長という立場だったのですが、毎朝公欠(注1)を取って日テレに行き、ズームイン朝！でプラカードを持って海城祭の宣伝をしていました。海城の制服を見かけると徳光さんが「おお、後輩か！オレの横に来て宣伝しろ」といい場所に出させてもらったのはありがたかったです。

文化祭では実行委員会や生徒会の仲間とバンドを組んで後夜祭で演奏しました。私はキーボードで、生徒会長の高山智司君(現衆議院議員)はドラム、ステージ委員長の藤塚基広君(現TBS)はベース。全員が医者を目指す大学とはまた違って、多様な夢を持ちいろいろな方面で活躍している海城の仲間が人生の宝物で、今でも必ず忘年会で顔を合わせます。

母が薬剤師をしていたので医療の仕事は身近にありました。企業戦士として人を蹴落としてまで出世しようとする性格でもなく、人のためになりたいという素朴な気持ちから、医師という仕事を考えました。

整形外科を選んだのは？

まず、誤解が多いので説明しますと、整形外科は美容整形はしません(笑)。整形外科は手足・首・腰などの骨と筋肉が専門。身体の中をみます。形成外科が皮膚など表面をみるので、美容整形は形成外科の範疇です。

私が整形外科を志したのは大学で準硬式野球部に入っていて、そのときのトレーニングで筋骨格系に興味を持ったからです。

亀田総合病院はどんなところですか？

ひと言で言うところ「働きやすい病院」です。新しい治療・手術・検査、患者にとつて良いと思うことを何でもチャレンジさせてもらえます。

千葉県の南部は高齢者の割合が高く、病院に求められる患者さんは80・90才は当たり前です。高齢の患者さんは既に合併症を持っている場合が多いので、その人に合った「オーダーメイド」の診察を心がけています。ちなみに、大きな病院(注2)なので医師の数は多く、海城出身の医師が私以外にも数名いるんですよ。

医学の道を目指す在校生に最も必要な事をアドバイスしたら？

とにかく、人と話すことです！あらゆる年代とコミュニケーションが取れる能力をつけてほしいですね。患者さんは年齢・性別だけでなく理解力や知識も様々です。難しい専門用語を使うのではなく、相手の立場にたつてわかる言葉で語ることが重要です。

勉強ができるという理由だけで医者を目指す人がいると思いますが、偏差値だけでは医者にはなれません。そういう人はホントに苦労すると思いますよ。

肩痛(五十肩)や、腰痛に悩まされる海城のOBにアドバイスをするとしたら？

月並みですが、適度な運動がいいです。そして、もし痛いと思ったら早めに整形外科に受診！

今後の夢は？

今は亀田総合病院から出向ということで安房地域医療センターに勤務しておりますが、今後も中長期的にこちらで勤務していきたいと考えています。それほど大きな規模でもなく他科との連携など小回りがきくので、直接患者さんのお役に立てたという実感があ

ります。私は人の役に立ちたくて医師になったのですから、それに勝る喜びはありません。

医師として地域医療に取り組む福内さん。病院内を案内していただく間も患者さんとの挨拶や笑顔が絶えず、医師に一番必要な力はコミュニケーション能力だという言葉には説得力があった。これからもがんばってください。

(聞き手 国井信男)

注1 現在の海城祭は9月に実施されるが、当時は6月の開催だったので準備期間が足りず、文化祭実行委員は公欠といって授業を休んで準備をした。

注2 亀田総合病院には医師400人、職員2800人が勤務している。個人病院としては日本1・2の規模。

福内正義プロフィール

海城中高で学び平成元年卒
高校時代は文化祭実行委員会宣伝委員長
長生徒会副会長
昭和大学医学部を卒業後、医局、いくつかの病院の勤務を経て平成16年から現職。



私にとつての

海城高校

昭和42年卒 益子 修

海城高校には東横線菊名から通学していた。自宅から学校までおそろく1時間半程度かかっていたと思う

信頼持たれる教育の場

が、遠かったという思いはない。電
車通学をしながら充実した高校生
活を送っていたと振り返っている。し
かし猛烈に勉強したとかクラブ活動
に力を入れていたということでもない。
強烈な思い出があるわけではないが、
先生には恵まれていたし、生徒もおつ
とりして和やかな雰囲気の中で
3年間を過ごせたことに満足してい
る。

時代に流されない伝統の力

もこの難しい時期の子供たちと過ご
す時間は御苦労が多いと思うと、横
道にそれることもなく順調に3年間
を育てていただいたことに改めて感謝
している。私の親も安心して教育を
学校に任せていた。スパルタ教育でも
なかったが落ちこぼれも出ていなかっ
た。これが伝統の力。今後も海城高
校が生徒にとつても親にとつても信頼
を持たれる教育の場であつて欲しい。

中学を卒業し大学に入るまでの高
校の3年間は非常に重要な時期であ
ると今になってつくづく思う。大学
入試にむけた準備もしなければなら
ないし、将来に対する期待と不安の
中でトラブルに巻き込まれやすい年
頃でもある。学校や先生方にとつて



母校に少しでも恩返し

映ゆい。私が通学していたころは今
のような華やかな実績は残していな
かった。それでも親は納得して子供
を学校に通わせていた。そこには時
代に流されず生徒の成長を暖かい眼
で見守る学校の教育方針があつたか
らだと思う。

ここ数年母校である海城高校へ少

益子修プロフィール

昭和24年生まれ 早稲田大学政経学部卒
昭和47年三菱商事入社、同社執行役員、
自動車本部長を経て
平成16年三菱自動車工業常務
平成17年1月同社社長に就任

「2050年の建築家シンポジウム」で
は実際に被災地からの報告を受けて
討議が進められ、建築家として社会か
ら付託された役割と責務について論議
がふかめられていました。

また基調講演では20年以上前から
GNPよりGNH（国民総幸福量）が
大切という大方針を打ち出している
ブータンのシグメタインレー首相のお話
に感銘を受けました。他にも5000

人のホールが超満員となった安藤忠雄
氏の公開プログラムや日本の建築家を
代表して行った槇文彦先生の「日本の
近代…言語、風景、集い」の講演など
意義深く印象に残るものが数多くあ

UIA2011 東京大会に 参加して

昭和26年卒 立石博巳

皆さんは昨年秋季に東京で国際建築
家連合（UIA）の世界大会が開かれ
たのをご存じでしょうか。国内海外
あわせて5000人を越える建築家が
一堂に会して1週間にわたつて、様々

スを務め、表舞台のさまざまなイベン
トに参加し、また主催者側のスタッフ
として裏方作業をして、表裏両面から
この大会に関わることができたことは
私の生涯で天命とも想い望外の喜びで
ありました。

待ちに待った大会

建築に関係していない人にとつては
あまり興奮するような話ではないで
しょうが、このような世界大会が東京
で開かれたということは、私ども建築
に関係する者にとつては歴史的な待
ちに待ったものでした。というのもこ
れが日本で初めての開催で実に24回

異文化の貴重な交流実現

あつて開催そのものが危ぶまれたこと
もありましたが、最終的には参加国は
110ヶ国にのぼり、参加登録者は海
外19000人、国内32000人となりま
した。また各プログラムへの一般参加
者は延べ数万人規模となつて、逆に震
災のあと日本がどのように復興し対応
するか内外の関心を呼んだようです。

天皇皇后両陛下のご臨席を賜つて
開会した今大会はおおよそ1週間にわ
たつて様々な会議やシンポジウム、講
演会、展示会さらには江戸巡りといつ
た街歩きなどが企画運営されました。



UIA千人茶会(国立博物館)での立石氏

（社）日本建築家協会関東甲信越
支部のホームページをご覧ください。
<http://www.jia-wanto.org/members>.

テーマのもとでのシンポジウムや討論会を行い、合わせて一般の人や学生らが参加しての講演会やワークショップ、展示会、コンクールなどが行なわれました。

私はこのUIAの日本の代表組織である(社)日本建築家協会(JIA)のメンバーとして9年前からこの大会実現に関わってきました。今回はJIAの支部推進委員会のコアスタッフ、建築家シンポジウムの委員、JIAのプレ

目にしてのようやく実現した大会だったからです。さらに東日本大震災が

ただ今回は大震災の後だけにすべてのプログラムに震災から学び、災害復興

りました。



基調講演するブータン首相

支援にどう取り組むかということ。プログラムの共通のテーマとして掲げられたことが特徴的でした。

世界中の建築家、専門家や研究者が一堂に会し市民とともにシンポジウムや展示、イベント見学会を開催し建築を通して異なる文化の貴重な交流となりました。今回の大会は国内はもとより世界にも和と輪を広げ次世代につながる絆を築いたと思っています。

立石博巳プロフィール
昭和8年生まれ 高島屋で建築装飾関係に携わる
現日本建築家協会(JIA)支部交流委員会代表幹事
国際観光施設協会理事
日本建築美術士会協会(aaca)理事
また日本ボーイスカウト東京連盟武蔵野第一団委員
建築会社(株)ヒナノ相談役
海原会副会長

「坂の上の雲」と 秋山哲児さん

昭和23年中学4年終了

秋山兄弟生誕地など

秋山哲児さんはTVドラマの「坂の上の雲」が始まると俄かに忙しく



写真の肖像は左から好古・真之兄弟

なつた。

現在、四国松山に「秋山兄弟生誕地」と「坂の上の雲ミュージアム」そして真之と仲の良かった「子規記念博物館」がある。これらの建物は主宰者が管理運営しているが、行事があると呼ばれて赴くと云う。最近では東京でも記念行事がある度に招かれて話しをする事があるようだ。

「坂の上の雲」とは、日露戦争を勝利に導いた秋山好古・真之兄弟と俳句革命に命を掛けた正岡子規の三人が、明治という時代の明暗と近代国家誕生にかけた日本人の姿を熱く描いた司馬遼太郎の作品だ。

「海軍」に憧れて 海城へ

秋山哲児さんは日清日露戦争で活躍した秋山好古(陸軍大将)の孫に当たる

方だ。

ところが秋山さんは言う。「それまで私は秋山好古の孫だなんて自慢した事がないですよ。それより好古の陸軍より、弟・大叔父の真之の海軍のほうがカッコよかったからなあ。それで海軍に入りたくて海城に入ったんです。入ったら終戦になっちゃって……」(笑)。「海軍」の歴史は終わった。「海軍」に携わった人は殆んど懐かしいようだ。

「やはりカッコがいいし、45度の敬礼! スマートじゃないですか。真之が三笠の上でノートを取ったりして、憧れましたよ」(笑)、と立って笑いながら敬礼の仕草をした。

小さい時は青山に居て、エリートコースの青山小学校から海城に入って無理やり級長に、そして特待生で戸惑いしたようだ。

祖父は軍人であつても生涯教育者

当時世界最強のコサック騎兵団を日本軍騎兵が破った秋山好古は軍人

と言えども、教員から出発していたとのこと。日露戦争後、退役してからも郷里の学校の校長をしていること。その辺の事を、軍人軍人と言っているが元から教育人だと哲児さんは言う。

「陸軍でも教官の立場で立つ事が多かったんですよ。学生は兵隊じゃないよ、勉強をさせろと言って、教練を減らして勉強させたんですよ。それはね、若い時に勉強したかった思いが、祖父にあつたんですよ。それに祖父は福沢諭吉に傾倒して子ども達は戦時がなければ兵隊になるなと言われ、親父も私も兄も皆、そして私の息子達も慶應ですよ」。

話しはチャンポン

秋山さんは、「坂の上の雲」の話題になると「陸軍」につけ「海軍」につけ戦争に触れると戦争賛美となる事を避けた。このドラマもそういう意味があつて司馬遼太郎も遺言でドラマ化することを拒否したことを覚えている。

秋山さんは、23年中学4年終了と

言われた。「終了」とは、旧学制の終了と戦時終了で、その狭間に立つた人と言う事になる。この辺のことをもっと聞きたかった。それに祖父の好古が千葉・習志野で初の騎馬訓練をした事など。

正直陸軍の話になったり海軍になったりしてチャンポンになり、どちらかと言えば、真之の「海軍」と海城のことになった。この懐かしさは時のダグラス少佐(のちの海軍大臣)の「海軍はスマートであれ」のひと言が今でも生きているからだろう。いま私達の人生もスマートでありたい。

(山本満男 記)

取材に同行して

取材中は笑顔を絶やさず、気さくな80歳の好々爺。インタビュー後は、スマートでリベラルで鋭い観察眼の素敵な大先輩という印象でした。感謝!

(北村 隆)

剣道部

部員／中学16名・高校26名

文武両道

海城では週1時間の武道（剣道・柔道選択）が中1～高2の5年間行われているが、授業に飽き足らぬ者は武道系の部活でさらに研鑽を積んでいる。

剣道部の活動は基本的には毎日。水曜日は朝練習もある。年間を通して数多くの大会があり、日曜祝日は試合であることも多い。しかし、毎日全ての練習に出るのではなく、学校の講習や塾の予定と考え合わせて出られるだけ出るというスタンスなどという「海城は部活ばかりできる学校ではないので、両方きちんとやることです」（顧問の馬場先生）。

現在、剣道部の顧問は内堀先生、馬場先生、次重先生、柳下先生の4人。指導は技術面の向上ばかりでなく、礼儀など人としての在り方も大切に、ことあるごとに生徒たちに声をかけるようにしているとのこと。



剣道部員にとって、試合で結果を残すことと同時に段位取得もモチベーションだ。海城剣道部では中3以上は全員有段者、高3では半数以上が三段を取得し引退している。昨年の大会結果は堂々たるもの。中学では新宿区を含む第2学区の大会において、強豪国士館に惜敗するも春季団体・秋季（新人戦）団体をいずれも2位。高校では関東大会第3支部予選・インターハイ第3支部予選ともに都大会進出を果たし、新宿区総合体育大会では個人で優勝をしている。今年も5月13日の第2学区春季大会からほぼ毎月各種の大会が続く。中学の部では東京都中学校春季大会（6月3日）、第2学区夏季大会（6月24日）、東京都夏季大会（7月30～31日）、9月30日には第2学区秋季大会の新人戦がある。また中高ともに6月3日には新宿区少年大会も予定されている。部員の活躍に期待したい。

（岡本浩太郎 記）

競技かるた部

部員／高校生のみ7名

目指すは「かるた甲子園」！

聞けば、競技かるた部は長らく休部状態だったと言う。部の再建は2年前の2010年とのこと。国語科の本間純一先生（現顧問）と、部長の田中健蔵君（高3）が再建に関わった。

現在、部員のうち有段者は4名。これはわずか2年間での実績である。本間先生曰く、「私自身、競技かるたの専門家ではないので、技術指導はまったくできません。彼らの実績はすべて彼ら自身の努力によるものです。私は円滑な部活動の環境作りに専念しています」。

「ウチの部は、運動部以上に運動部です」と先生は言う。まずはその格好。練習はもちろん試合も、ユニフォームは上がTシャツ、下がジャージ。その格好で臨む試合は、1時間半の長丁場となる。集中力、そして体力の持続が必須となるのだ。また試合は一瞬



で局面が大きく変わる。気持ちの切り替えを早くし、メンタルの強さも要求されるのだ。日常の活動は週3日、各3時間、主に実戦形式の練習を、本番さながら、張り詰めた緊張感の中おこなっている。本校では、中学校の学校行事として、毎年3学期末に「かるた会」を催していて、年々、熱い盛り上がりを見せているらしい。先生は、「ゆくゆくは、中学からも入部できるようにして、人材の早期確保を目指したい。東京都の競技かるたのレベルは全国随一、そこで勝ち上がることはすでに全国レベルの実力を意味している。全国を視野に入れた戦いができる部活は他にそうはないのではないかと」熱く語る。ちなみに東京都大会での最高位は、一昨年の4位。私立暁星、都立白鷗、都立駒場の3強を崩し、今年度こそ悲願の全国大会出場に向け部員一丸となり、日々練習に励んでいる。今後の躍進を期待したい。

（北村 隆 記）

永年会費納入者（敬称略）

寄付

昭39年卒 佐藤 穰 (二千元)
昭41年卒 菅原 進 (二万円)

平22	中川隆嶺	平20	後藤響介	平元	高山智司	平21	原圭佑	平9	大友博之	昭52	柴田浩明	平22	土屋雄俊	平22	浦田泰造	平16	戸塚健一郎	昭40	三輪和夫	平20	田村啓太	昭32	甚野莊平	平20	森川光樹	昭36	北川武司		(追加二万円)	平4	竹川英宏		(五万円)	昭62	栗林聰	平8	島田英彦	
													平19	昭31	昭45	平23	平14							昭32	昭56	平22					平12		平19	平13				
													安藤祐一	小嶋敏治	上野龍一	神人将	原宏明								中島和樹	伊藤祐之					田村直也		石橋甫	角田赳				
													平成23年11月から 平成24年3月まで (受領日順)																									

永年会費を納入されている方にも、封入作業の都合で、会費の振込用紙が同封されていますが、ご了承ください。

学習指導部長 森 昭大

平成24年度の大学入試結果は表の通りです。

東京大学の合格者数が、現役、既卒ともに昨年より増加しました。雑誌には肯定的な記事がいくつか出ましたが、本校の取り組みが大きく変化したわけではありません。一喜一憂する(させる?)マスコミとは一線を画して入試結果の概観・特徴を述べたいと思います。

今年の現役生は理系が多く、クラス数も文3に対し理6でした。中でも年々医学部志望の生徒が増え、大きな流れになっているように感じます。今回、その医学部の合格者が多いことも大きな特徴でした。国公立医学部入試では、まずセンター試験での高得点が必須です。今年度は全国的にもセンター試験での得点率が高くハイレベルな争いとなりましたが、2次試験を突破する応用力が高かったものと思われま

す。医学部への集中が顕著である一方、特定の大学に一極集中する傾向は薄らいできました。将来の進路をしっかりと見据え、職業選択→研究分野選択

国公立大学

	学部	総数	医	現役	医	卒業生	医
東京大学 前 45 後 2 合計 47 (現役34,卒業生13)	文Ⅰ	3		3		0	
	文Ⅱ	7		6		1	
	文Ⅲ	3		1		2	
	理Ⅰ	23		17		6	
	理Ⅱ	5		2		3	
	理Ⅲ	4		3		1	
	後期(理Ⅲ除く)	2		2		0	
京都大学 合計12 (現役5,卒業生7)	文	2		0		2	
	法	0		0		0	
	経済	1		1		0	
	教育	0		0		0	
	総合人間	2		1		1	
	理	1		0		1	
	工	2		0		2	
	医	1	1	1	1	0	
	薬	1		1		0	
一橋大学 前 15 後 0 合計 15 (現役7,卒業生8)	農	2		1		1	
	法	3		0		3	
	経済	3		3		0	
東京工業大学 前 11 後 0 AO 3 合計 14 (現役12,卒業生2)	商	6		3		3	
	社会	3		1		2	
	第1類	4		4		0	
	第2類	1		1		0	
	第3類	2		2		0	
	第4類	2		2		0	
	第5類	4		3		1	
北海道大	第6類	0		0		0	
	第7類	1		0		1	
東北大	3		2		1		
秋田大	6	2	2	1	4	1	
茨城大	3	3	3	3	0		
筑波大	2		0		2		
群馬大	5	1	4		1	1	
埼玉大	5	5	4	4	1	1	
千葉大	1		0		1		
電気通信大	12	3	7	2	5	1	
東京医歯大	1		0		1		
東京外大	1	1	1	1	0		
東京学芸大	2		2		0		
東京農工大	2		0		2		
横浜国立大	6		3		3		
新潟大	4		2		2		
富山大	1	1	0		1	1	
山梨大	1	1	0		1	1	
信州大	1		1		0		
大坂大	1	1	1	1	0		
大坂教育大	2	1	2	1	0		
神戸大	1		1		0		
佐賀大	5		3		2		
熊本大	1	1	1	1	0		
札幌医大	1	1	0		1	1	
国際教養大	2	2	0		2	2	
高崎経大	1		0		1		
首都大東京	1		0		1		
横浜市立大	2		1		1		
都留文科大	2	1	2	1	0		
大阪府立大	1		1		0		
気象大学校	1		0		1		
海上保安大学校	1		1		0		
防衛医科大学校	1		0		1		
国公立大学・大学校総計	5	5	4	4	1	1	
		172	30	106	20	66	10

ありますか? 海城法曹会

『今私は司法修習生をしています。他校卒業生(開成など)から、各校出身者の法曹で構成されるOB会があると聞きました。もし海城法曹会のようなものが結成されているか、結成されているなら連絡先はどちらの先輩か、教えていただけませんか?』

若手の海原会員の方から事務局に問い合わせがありました。海城OBの法曹で構成される組織の存在をご存じの方がいらっしやいましたら、海原会までご一報ください。これから立ち上げるというご意志でも結構です。(E-mail: unabara@kaijo.ed.jp)

第5回 利根山光人記念大賞展トリエンナーレ・きたかみ 2012年8月2日~8日 会場・北上市民交流プラザ

戦後、日本現代美術をリードした国際的な画家利根山光人氏(元学園美術教師)は、民俗芸能の里「東北北上」に伝承される鬼剣舞や鹿踊などの躍動美に衝撃を受け、北上にアトリエを構え20数年に亘り制作活動を行い、現代美術界に多数の名作を送りました。この功績を讃え全国公募展を開催しています。

大賞作品は100万円。

審査員・窪島誠一郎(信濃デッサン館主)、中林忠良(芸大教授)

審査員・窪島誠一郎(信濃デッサン館主)、中林忠良(芸大教授)

甲田洋二(武蔵美学長)、千葉成夫(現代美術評論家)、他。
期間中の北上市は鬼の街一色になります。東北の元気な姿を見て下さい。(問合せは山本満男迄 Fax: 043- 461- 6746)

【会報バックナンバー閲覧パスワード】

ホームページをリニューアルして1年がたちました。会報のバックナンバーの閲覧については、パスワードを設定しております。ユーザー名はkaihouです。

パスワードは2012年5月14日までは「k:2011S」、2012年5月15日からは「kaijo:121」になります。

お知らせ/ 掲示板

37年卒の同期の皆さま

6月2日(土)午後2時に集合!!
今年は卒業から50年目、総会で会いましょう。 鷲田和雄

寺崎央さんの『癌一髪!』

エッセイストとして活躍している寺崎央さん(S36年卒)が自分の肝臓癌との戦いを一冊の本に書きまとめ「癌一髪!」という題名でマガジンハウスから発売しました。

詳しくは同期会・同窓会広場の記事および、以下のURLをご覧ください。

<http://magazineworld.jp/bookS/all/?goSu=2411>



海城の同級生で起業いたしました。

平成23年9月に、昭和63年入学の4年5組(鴨田学級)の2人でIT関連会社を興しました。

株式会社 わかたむ

HP: <http://www.wakatam.com/>

田村栄仁(元:海城ドルフィンズ)

若杉和哉(元:野球部)

高校の同級生で始める会社というのも、ありそうでない組み合わせですが、ぜひ海城魂を込め頑張りたいと思います。よろしく願います!



◆ 訃報 ◆

謹んで
ご冥福をお祈り
申し上げます。

職員	平21	昭61	昭50	昭49	昭44	昭40		昭35		昭34	昭33	昭29	昭28		昭27	昭23	昭20	昭19		昭18	昭17	昭16		昭15		昭13	昭10			
小林好昌先生	北見	池田	高山	山崎	吉野	吉井	濱田	荒井	源関	小川	長田	伊藤	森沢	片岡	遠藤	佐野	宮川	山屋	渡辺三郎右衛門	高岡	百瀬	増永	世古	大谷	八角	熊崎	秋山	中川	竹内	佐治
榎也	信之	卓哉	良平	敏光		功	允熙	国明	英典	靖司	耕輔	彰規	満	平八	英夫	明吉	博治	登	泰資	洋	堅	明夫	正夫	方二	康夫	幾男	松男	泰男	浩	
24	24	20	22	20	18	23		24	23	23	24	24	23	24	24	23	23	23	23	24		23	21	21	23	23		21		
2	3		10			11		1	9	6	3	4	8		3	3	10	9	12	7	4	10		11	6	12		6		
10			29			4		2		23	11	20	19					10	24	17	10				29	19		7		

編集担当

岡本浩太郎	国井信男	小西洋也	北村隆	安藤浩	石原長夫	片山忠美	山本満男	小川晴望
(H02)	(S62)	(S41)	(S40)	(S34)	(S33)	(S28)	(S27)	(S26)

編集後記

◎70代に入って元気だった同期の急逝が目立つ。蓋棺事則已(杜甫)。元気で人生を全うしたい(石原)

◎もう遅いかもしれないが、先輩の功績を追跡して紹介したい。最早、ご覧の通り若い世代になつて来た(山本)

◎7/7に小林先生の形見分けのお酒を飲みにいきましょう(国井)

◎毎度海原会の層の厚さには圧倒されます(岡本)

◎海原会ゴルフ会開催決定! 楽しき出会いの場にならんことを(安藤)

◎競技カルタ部長田中君の好きな「首」夕されば... (七十番、大納言経信(北村))

◎訃報が入る。その存在は常に感じていたのに、それが突如消えてしまう。その先はない(片山)

◎小川晴望さんが今回で編集を退任されました。長い間、海原会報の継続発展のために尽力くださいました。ありがとうございました(小西)